

ウェビナー開催情報

インドネシア先住民族の土地・生活・文化を 奪ってきた鉱物資源開発

—50年の権利侵害の実態から「公正な」移行を考える

7月23日（木）19:00～20:30

オンライン(zoom)

共催：国際環境NGO FoE Japan
アジア太平洋資料センター（PARC）

プログラム

- 南スラウェシ州ソロワコ・ニッケル開発の概要と日本の関わり
 - 波多江秀枝 <国際環境NGO FoE Japan> 5分
- ソロワコ・ニッケル開発の現場では？問題の概要と先住民族の権利
 - インドネシア環境フォーラム(WALHI)南スラウェシ(逐字訳あり) 20分
- 先住民族のカルンシエ人の声～土地・生活・文化への権利侵害の実態について
 - 先住民族のカルンシエ人族長 他 (逐字訳あり) 30分
- 現地の話を受けてのリアクション
 - 田中 滋<アジア太平洋資料センター(PARC)> 5分
- 質疑応答 25分

2026年7月23日【ウェビナー】

インドネシア先住民族の土地・生活・文化を奪ってきた鉱物資源開発——50年の権利侵害の実態から「公正な」移行を考える

南スラウェシ州 ソロワコ・ニッケル開発の概要と 日本の関わり



FoE Japan 波多江 秀枝

E-mail: hatae@foejapan.org

生活に入り込んでいるニッケル

- 耐食性
- 耐久性
- 高温や低温での強度
- 特殊な磁気電気特性



ステンレス鋼、スチール、非鉄合金、めっき、硬貨、エレクトロニクス、携帯機器、調理器具、医療機器、**電池**など



⇒ 電気自動車 (EV) への移行

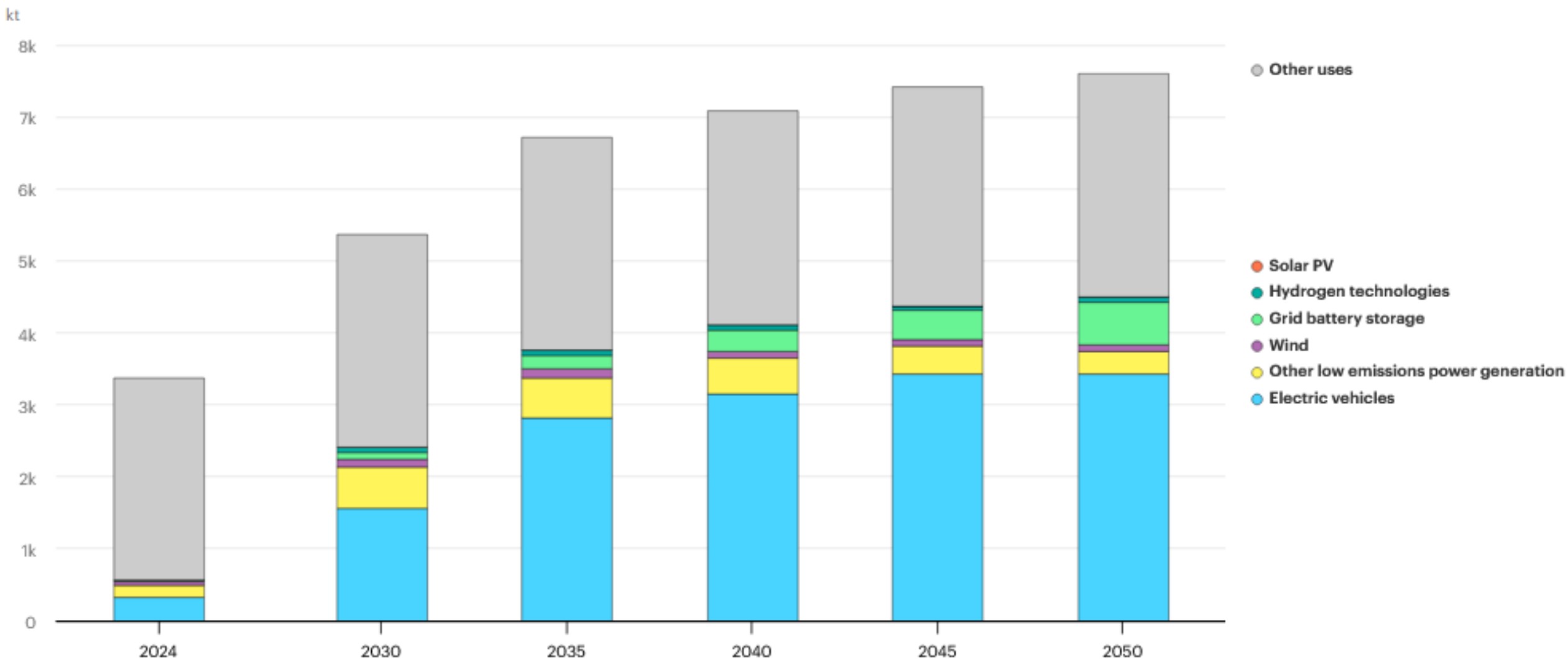
⇒ 再生可能エネルギーへの移行

※ 電力網／大容量蓄電池

気候変動対策で
高まる
鉱物資源需要

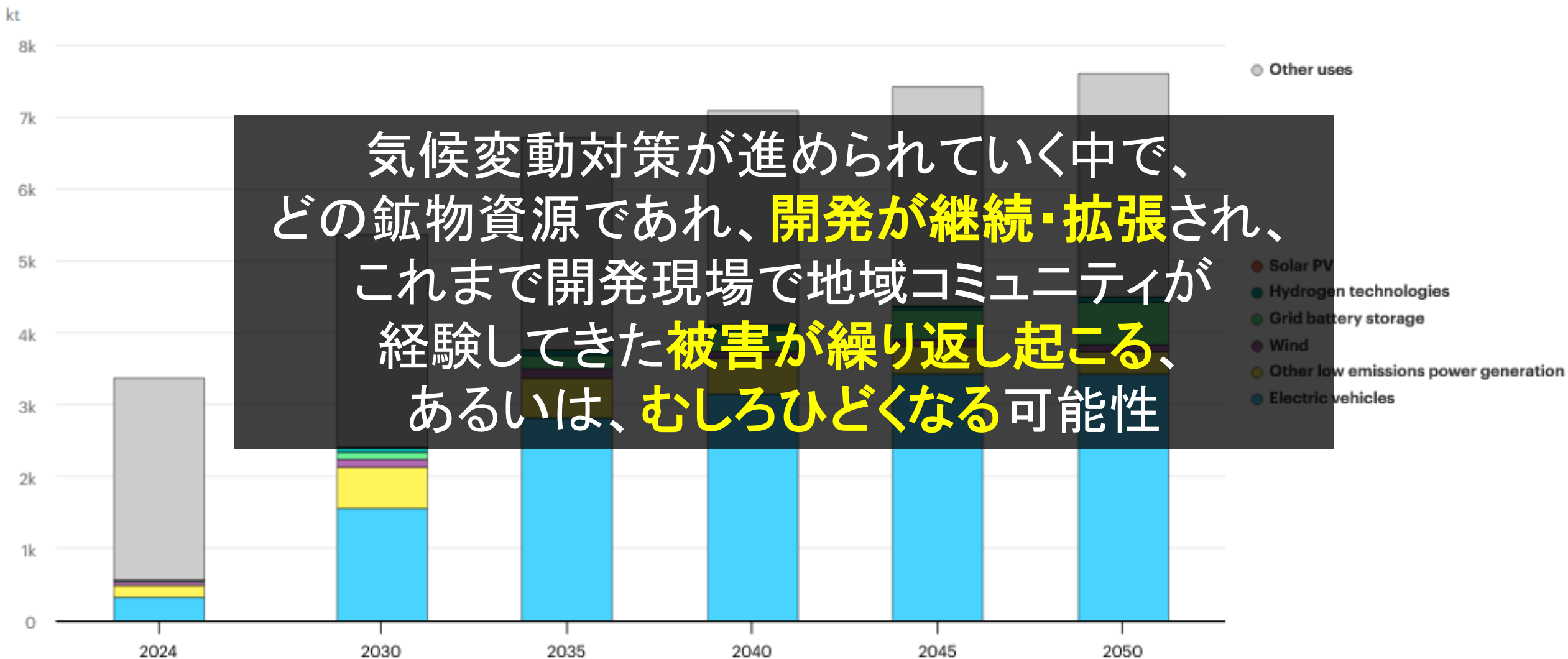
2050年ネットゼロ達成シナリオ: ニッケル総需要予測

グラフ: 国際エネルギー機関(IEA)の”[Critical Minerals Data Explorer](#)”(2025年5月)



2050年ネットゼロ達成シナリオ: ニッケル総需要予測

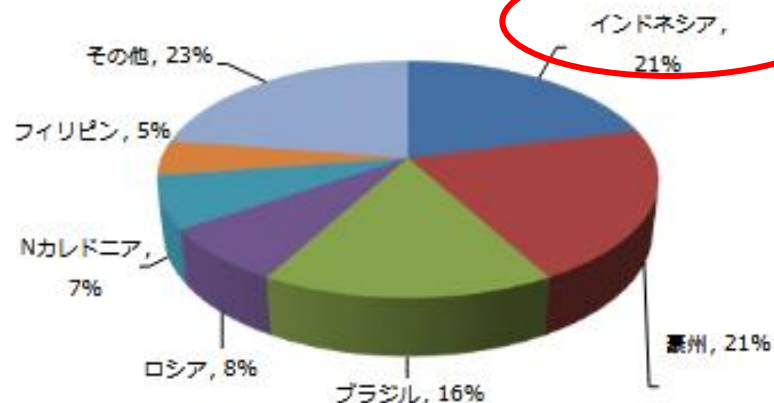
グラフ: 国際エネルギー機関(IEA)の”[Critical Minerals Data Explorer](#)”(2025年5月)



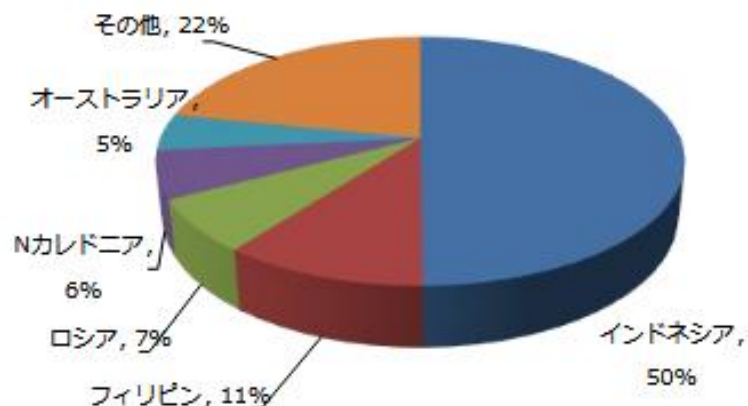
ニッケル埋蔵・生産地の偏在性

[国名、構成比(%)](数値は純分ベース、2022 年世界計) 出典:USGS2023、WBMS2023、INSG2023

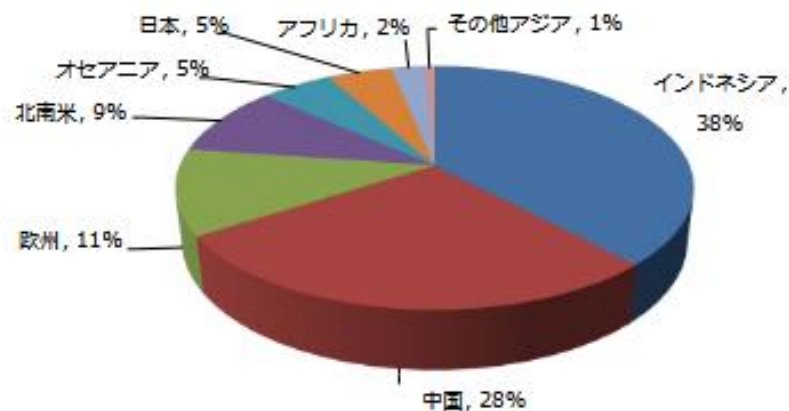
国別埋蔵量(合計 100,000 千t)



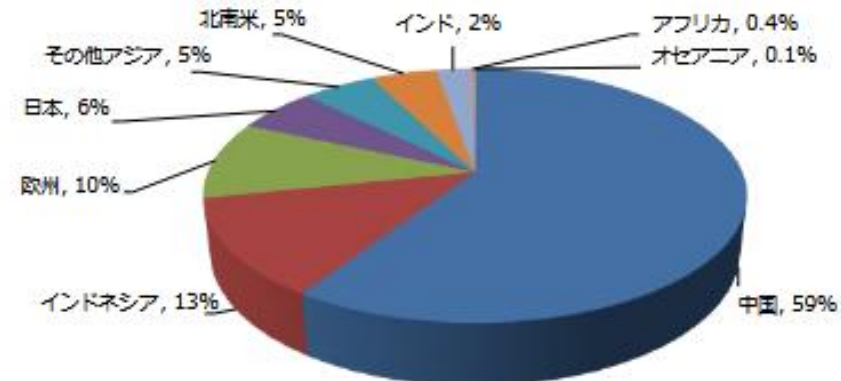
国別鉱石生産量(合計 3,220 千t)



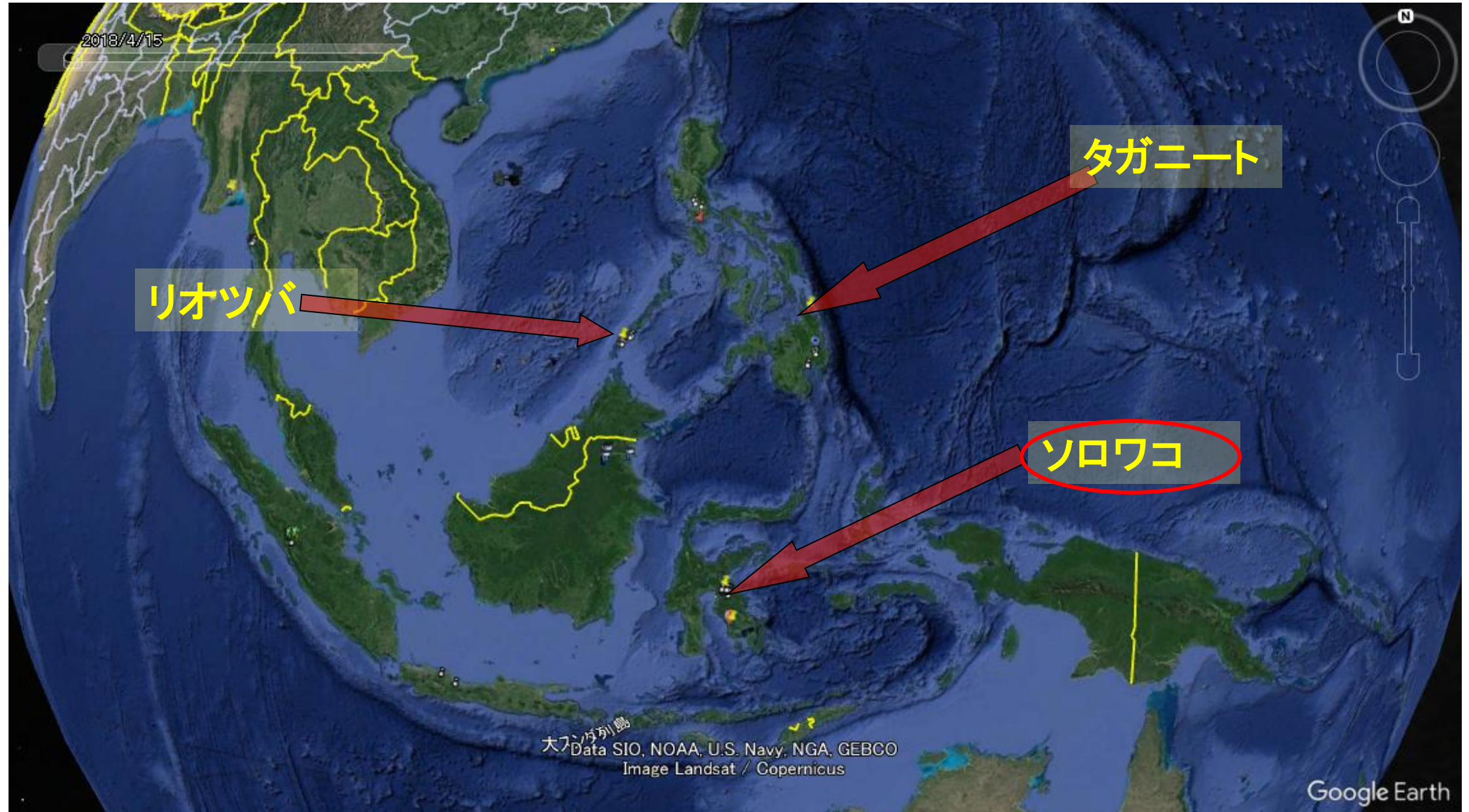
国地域別一次Ni生産量(合計 3,059 千t)



国地域別一次Ni消費量(合計 2,956 千t)



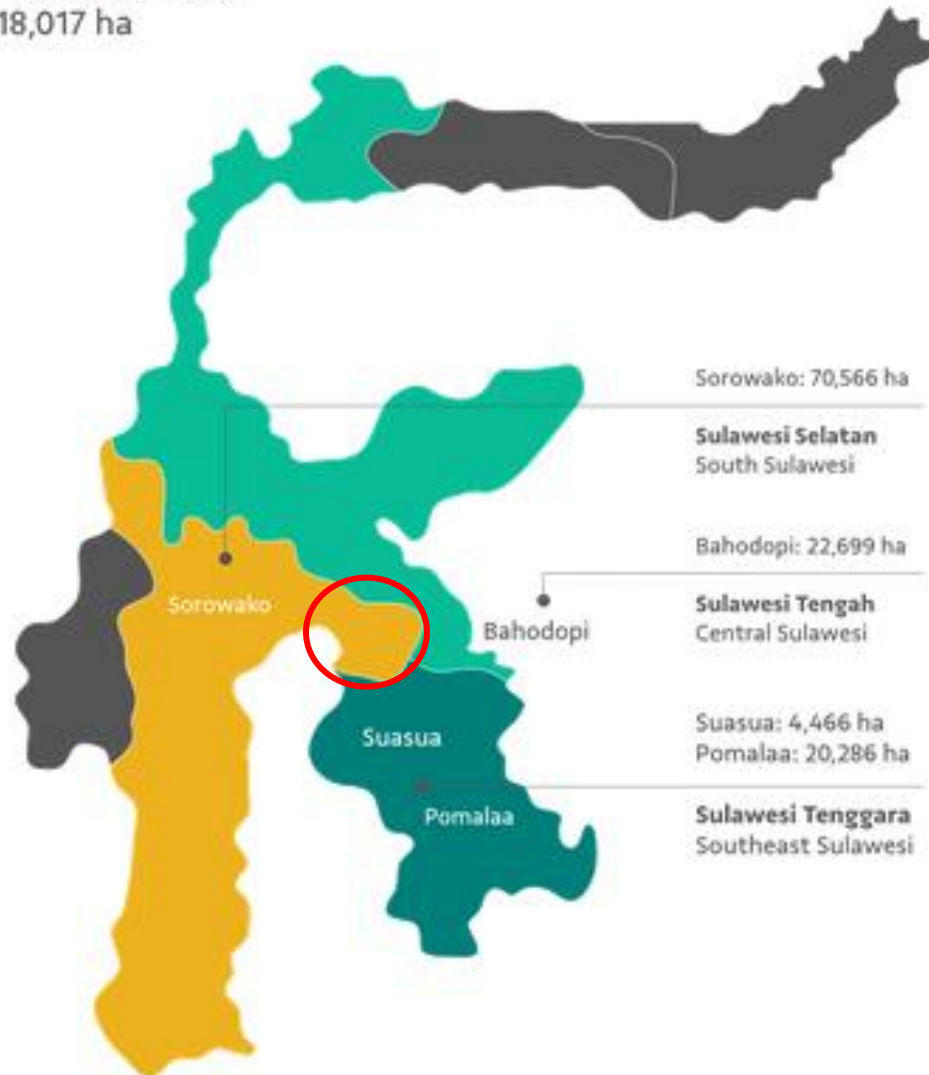
インドネシアで日本が最も深く／長く関わるニッケル開発現場



PTヴァーレインドネシア (PTVI) (旧PTインコ) によるスラウェシでの開発

Wilayah Konsesi

Concession Area
118,017 ha



コンセッション面積 計118,017ヘクタール

- 特別鉱業事業許可 (IUPK)

2035年12月まで

※鉱業事業契約(1968年～)から切替更新
(完了:2024年5月)

● 南スラウェシ 70,566ヘクタール

Cf. 東京23区の面積62,753ヘクタール

● 中スラウェシ 22,699ヘクタール

● 南東スラウェシ 4,466ヘクタール

+ 20,286ヘクタール

PTVIの南スラウェシ州ニッケル開発鉱区







PTVIによる南スラウェシ(ソロワコ)での開発(関連インフラ)

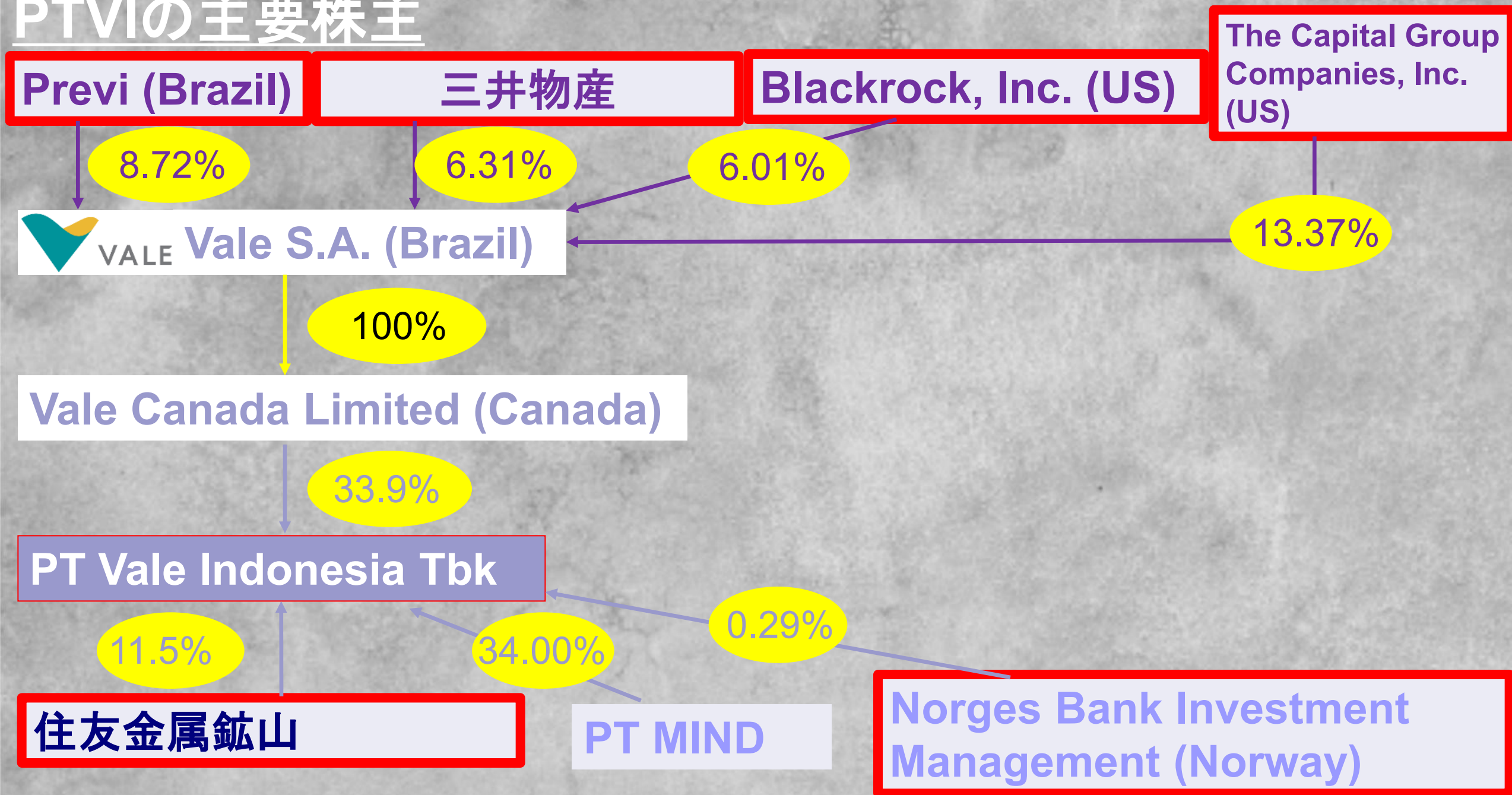
新たな製錬所(高圧硫酸浸出:
HPAL)建設計画

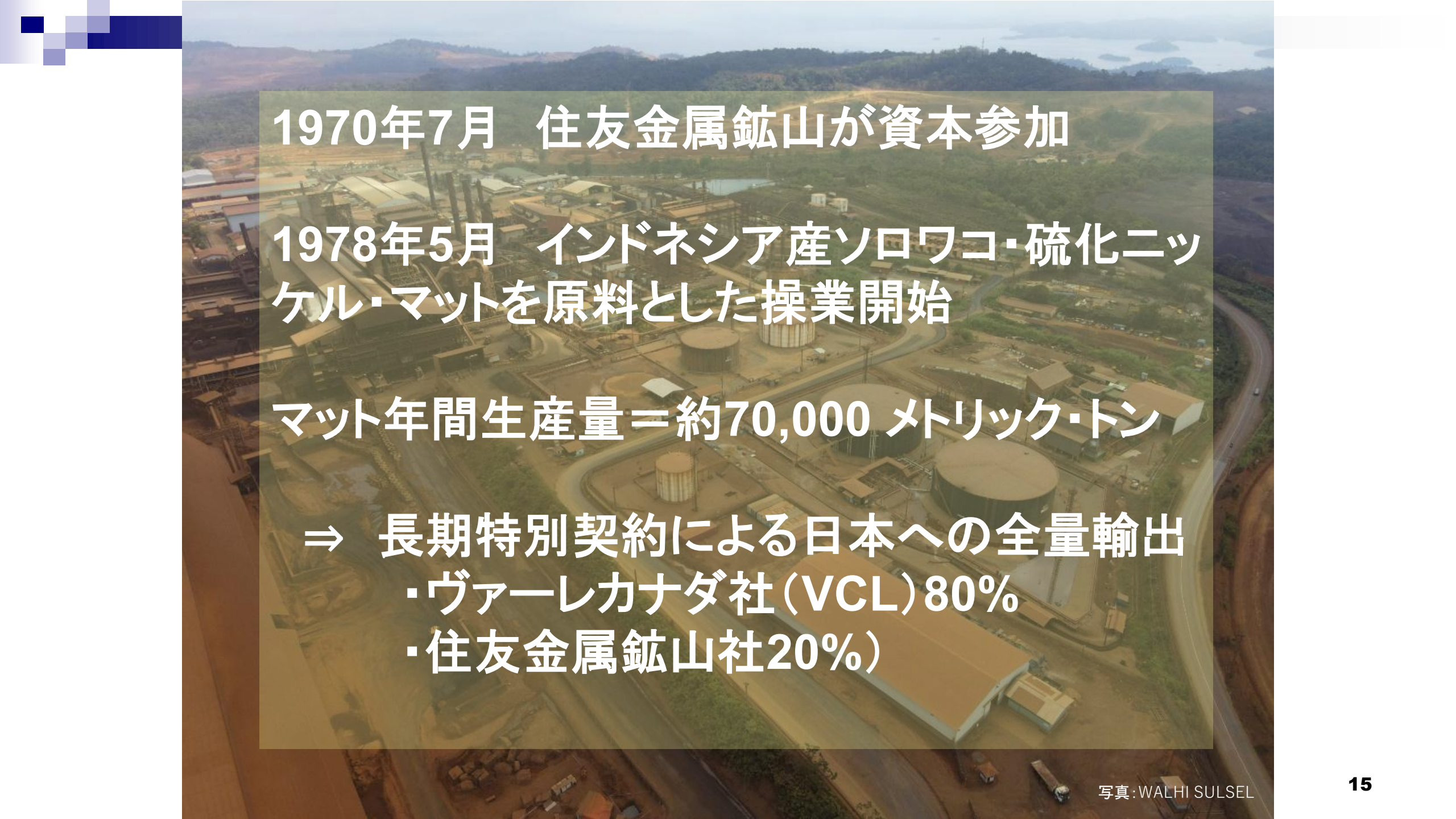
ニッケル・コバルト混合水酸化物
(MHP)=年間約 60,000 トン生産

出典: https://www.vale.com/documents/d/guest/2023-8-25-press-release-signing-definitive-agreement-sorowako-hpal_english



PTVIの主要株主





1970年7月 住友金属鉱山が資本参加

1978年5月 インドネシア産ソロワコ・硫化ニッケル・マットを原料とした操業開始

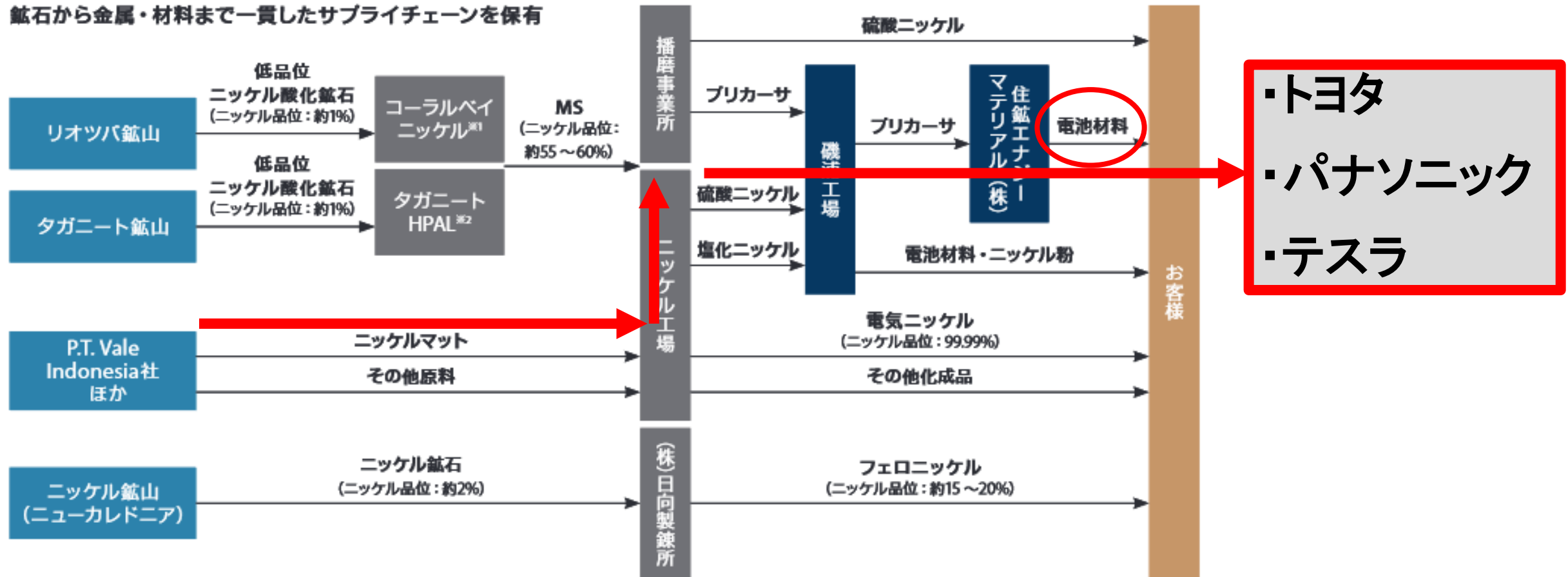
マット年間生産量＝約70,000 メトリック・トン

⇒ 長期特別契約による日本への全量輸出
・ヴァーレカナダ社(VCL)80%
・住友金属鉱山社20%)

住友金属鉱山のニッケル事業

■ ニッケルの安定供給を実現するサプライチェーン

鉱石から金属・材料まで一貫したサプライチェーンを保有



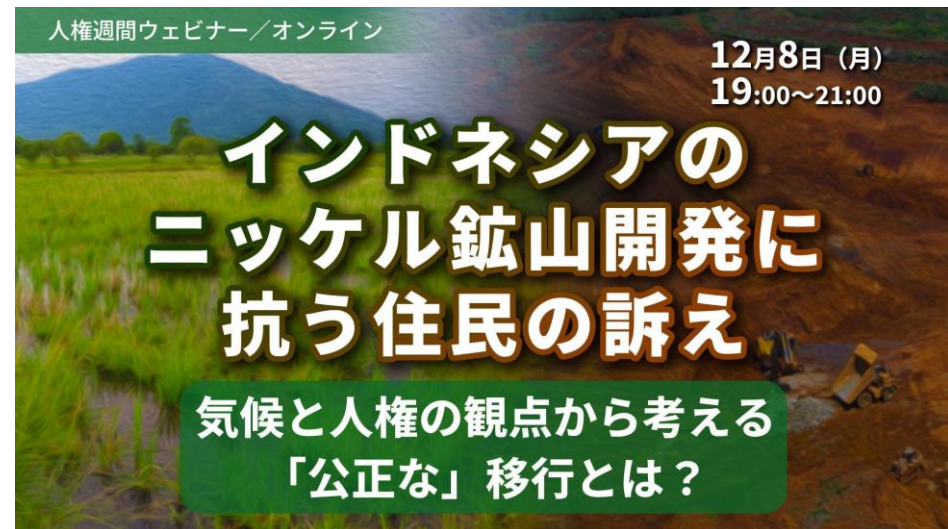
※1 コーラルベイニッケル: 株主および出資比率は、住友金属鉱山(株) 54%、三井物産(株) 18%、双日(株) 18%、ニッケル・アジア・コーポレーション10%。本社はフィリピン共和国パラワン州バタラサ郡リオツバ。

※2 タガニートHPAL: 株主および出資比率は、住友金属鉱山(株) 75%、三井物産(株) 15%、ニッケル・アジア・コーポレーション10%。本社はフィリピン共和国スリガオデルノルテ州タガニート地区。





SNS、動画、ウェビナー録画等の拡散にご協力ください



オンライン署名に
ご協力ください



住友金属鉱山は フィリピン・パラワン州における ニッケル採掘・製錬事業の停止を！



オンライン
署名サイト
二次元コード👉